

宇宿貝塚史跡公園リニューアルによるSDGs加速化事業 ～観光×教育×環境サステイナブル・ハブ整備プロジェクト～



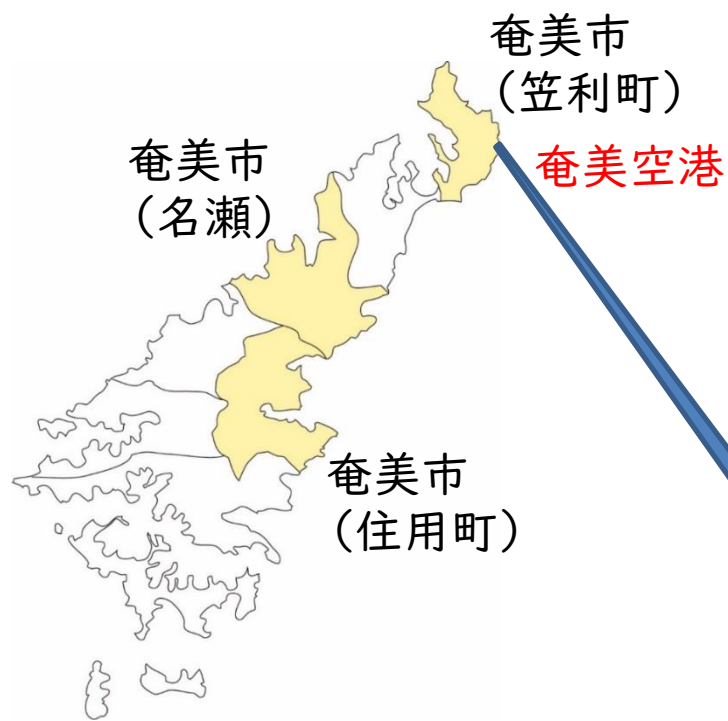
あまみ縄文くん



SDGs未来都市「奄美市」

令和6年度
奄美市プロジェクト推進課

奄美市の基本情報



奄美市歴史民俗資料館



人口:39,786人 面積:308.33Km²
地理条件:鹿児島県本土から南西380kmに位置する

(地域課題)

人口は、今後大きく減少していくと予想され2015年と比較して2045年には41.3%減少

(地域資源)

多様な自然環境を有し、世界的に独特で重要な絶滅危惧種や固有種の生息・生育地となっていることが世界的に認められ、令和3年7月26日に世界自然遺産へ登録された。

宇宿貝塚

鹿児島県奄美市笠利町宇宿にある縄文時代から中世にかけての複合遺跡である。縄文時代の石組の竪穴建物跡や貯蔵穴、中世の土坑墓などの遺構や土器、石器や骨角器、貝製品などの遺物が発見され、昭和61年（1986）10月7日に国史跡に指定された。

宇宿貝塚史跡公園

国史跡「宇宿貝塚」の真上に整備された施設である。

この公園は、発掘調査で発見された遺構・遺物や調査の跡を埋め戻さずに露出展示している。



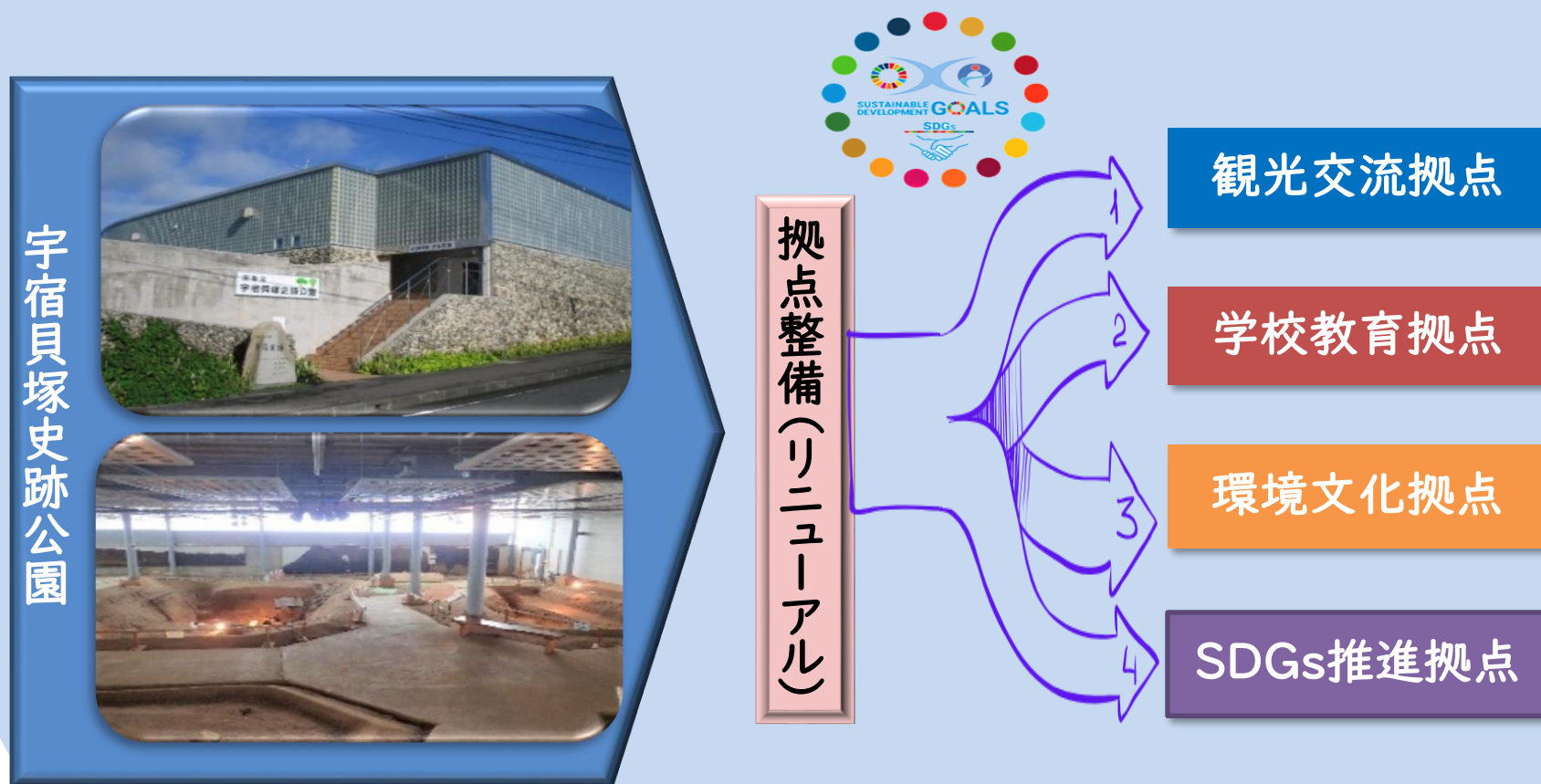
宇宿貝塚史跡公園リニューアルによるSDGs加速化事業

事業目的

自然・動植物とそこに暮らす人々が共存共生し、環境に負荷をかけない『縄文型生活』、「世界に誇る自然環境・生物多様性と深い歴史が共に歩むことで、新しい価値を創造する『環境文化』」を併せて発信する拠点施設として、「宇宿貝塚史跡公園」のリニューアルを図り、SDGsの拠点として位置づけると共に観光・教育・環境の拠点施設を目指して整備を行います。

拠点施設では、多様な主体との連携したSDGの推進活動を行うとともに観光・教育・環境に効果を発揮する各種取組みを行います。

宇宿貝塚史跡公園拠点整備



地球の限界にストップをかける極めて重要なメッセージを縄文文化の思想哲学に乗せて世界に発信する。

事業概要

1. 屋根等改修(屋根・外壁・軒天全面改修)
2. ワークスペース設置(学びの場、体験の場、交流の場を新設)
3. リニューアル工事(空間リニューアルにより魅力ある空間整備)
※照明取替、間仕切り等による空間整備、歴史民俗資料館の一部機能移転等
4. 展示用設備設置(ショーケース、展示用パネル等の設置)

総事業費:70,000千円

目標額:40,000千円

成果・解決する地域課題

- 奄美市SDGs推進プラットフォームの運営によるSDGsの加速化
- 世界が認めた自然共生に基づく「奄美大島観光ブランドの構築」
- 奄美の魅力を引き出し「地域の担い手確保」
- 縄文時代から育まれた自然観に基づく「環境文化の継承と発信」
- 島内外の地域資源を最大限に活用した「地域循環共生圏の構築」

プロジェクトのポイント



01
SDGsの推進



02
脱炭素の推進



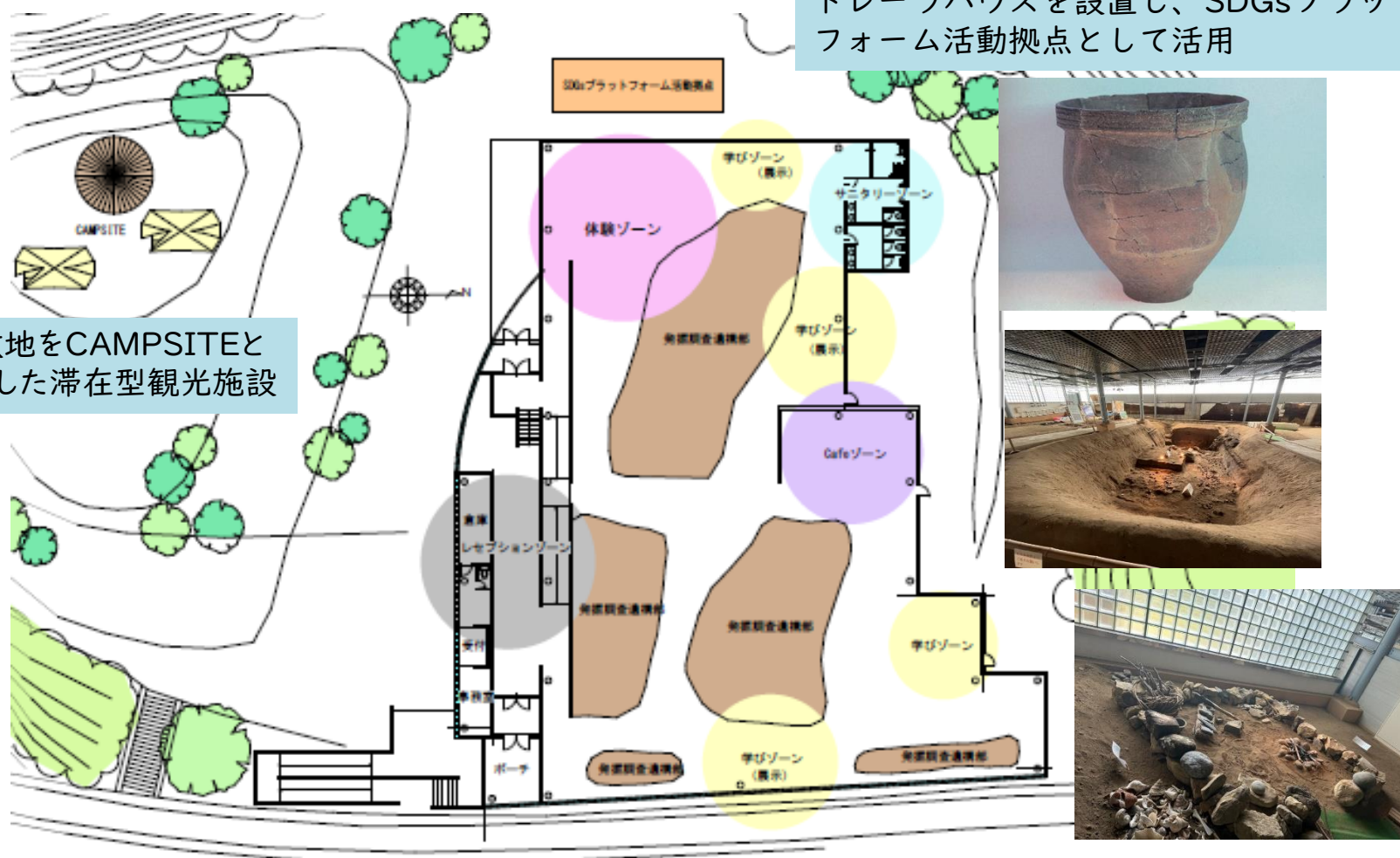
03
生物多様性の保全

奄美市SDGs推進プラットフォーム

リニューアル後の宇宿貝塚史跡公園平面図

トレーラハウスを設置し、SDGsプラットフォーム活動拠点として活用

既存の敷地をCAMPSITEとして活用した滞在型観光施設



構造	敷地面積	建築面積	延床面積
鉄骨造平屋建て	3,785.00 m ²	1,190.82 m ²	1,173.55 m ²

ご寄付をいただいた企業へのベネフィット

企業版ふるさと納税制度を活用しご寄付をいただいた企業様へ、寄付額に応じて以下のとおりベネフィットを提供いたします。

寄付額	ベネフィット
10万円～	市HPでの紹介
30万円～	御礼状、実績報告書の送付
50万円～	感謝状の送付
100万円～	感謝状贈呈式の開催 対象施設等に寄附企業の銘板の設置 奄美市SDGs推進パートナーへの登録

「宇宿貝塚史跡公園」をリニューアルし、観光×教育×環境を通じたSDGsの取組を推進します。

ぜひ、企業版ふるさと納税へのご協力をよろしくお願いいたします。